2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 株式会社ガイアックス 上場取引所 名
 コード番号 3775 URL https://www.gaiax.co.jp
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 上田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 野澤 直人 TEL 03-6869-0005
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,529	67.7	439	-	439	-	440	-
2019年12月期第2四半期	912	△47.1	△194	-	△191	-	△189	-

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 1,579百万円 (-%) 2019年12月期第2四半期 △180百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	89.58	-
2019年12月期第2四半期	△38.56	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,734	2,594	68.4
2019年12月期	1,619	1,008	60.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 2,555百万円 2019年12月期 975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年12月期	-	0.00	-	-	-
2020年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

ソーシャルメディアサービス事業については、企業におけるSNSマーケティングやソーシャルメディアを活用したプロモーション等の需要が堅調であり、売上高については、前連結会計年度と同水準を見込んでおります。インキュベーション事業においては、引き続きシェアリングエコノミーサービスに重点をおき、新規サービスの発掘・拡販を推進してまいります。新規サービス並びに関連して保有する株式の価値については、マーケット環境や市況動向次第で損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績予測が極めて困難な状況であり、連結グループとしての業績予想の公表を控えさせていただきます。

また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、第3四半期連結累計期間以降の業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。影響が判明した際は速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	5,147,752株	2019年12月期	5,147,752株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	234,694株	2019年12月期	234,694株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	4,913,058株	2019年12月期 2 Q	4,913,058株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「（3）連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルスの世界的な流行により大きく停滞し、国内の消費マインドも急速に悪化、今後の先行きは不透明な状況となっております。当社グループを取り巻く事業環境におきましては、スマートフォン保有世帯の割合が83.4%、個人でも全体の67.6%にまで達し、スマートフォンによるインターネット利用が浸透しております。また、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の利用も依然として拡大傾向にあり、20～29歳の利用割合は87.1%を記録しています。企業においてもSNSの利用割合は拡大しており、マーケティングやプロモーション、リクルーティングなど、ソーシャルメディアを事業に活用する重要性が益々高まっております。このような状況の中、新型コロナウイルスの影響により、対面でのサービス提供やイベント開催が自粛されたことで、オンラインを活用した新たなサービスが次々と生まれております。シェアリングエコノミー分野においても、新型コロナウイルスの影響を受けてはいるものの、2030年度には約6倍の約11兆円にまで拡大すると予測されています。このような背景のもと、当社は、引き続き成長が期待されるシェアリングエコノミー分野およびオンライン事業分野に注力し、様々なサービスを提供するとともに、ソーシャルメディアサービス事業のノウハウを展開し、ビジネス領域の更なる拡充と優位性の確保に努めてまいりました。2020年6月には株式会社ロコタビを連結子会社化することを決議し、また、社内事業を分社化し上場を目指すカーブアウト制度の取り組みでは、アディッシュ株式会社が2020年3月26日に上場を果たしております。いち早く市場ニーズに対応する複数の企業を立ち上げ、キャピタルゲインを目指すスタートアップスタジオでは、2018年1月の開始から合計11社を立ち上げるに至っています。当第2四半期連結累計期間における業績は、主力事業であるソーシャルメディアサービス事業において、ソーシャルメディアを活用したプロモーションの代行及びコンサルティング業務が引き続き安定的に売上を計上いたしました。また、インキュベーション事業においては、投資先であるアディッシュ株式会社の保有株式の一部を売却いたしました。

この結果、売上高は1,529,329千円（前年同期比67.7%増）、営業利益は439,278千円（前年同期194,838千円の損失）経常利益は、439,037千円（前年同期191,369千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、440,131千円（前年同期189,450千円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ソーシャルメディアサービス事業)

①ソーシャルメディア領域

<コミュニティパッケージ、企業向けブログ、活性化サービス>

Facebook、Twitter、LINE@、Instagram、ブログなどソーシャルメディア活用の企画提案やシステム構築・運営、多店舗向けのブログシステムの提供

②企業内SNS領域

<社内SNS、グループウェア>

企業の社内コミュニケーションをサポートするクラウド型社内SNS、内定者SNS、育児休業者SNSやクラウド型グループウェアを提供

③マーケティング支援領域

<ソーシャルメディアマーケティング、Webマーケティング>

ソーシャルメディアやブログなどを活用したマーケティングのコンサル業務、Webサイトの構築・運営

<デジタルコンテンツサービス>

スマートフォン、PC、モバイル端末向けに、ゲーム、占い、レシピ、スタンプなど様々なデジタルコンテンツを制作・提供

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの影響により、政府より「新型インフルエンザ等対策措置法に基づく緊急事態宣言」が発令され営業活動が制限される中、主にTwitterやFacebookなどのソーシャルメディアを活用したプロモーションの代行業務及びコンサルティング売上が安定的に計上いたしました。

システム運用においては、セキュリティ対策に予算を割けない企業を支援するため「Cloud Sun Webサービス脆弱性診断サービス」をリリースし、安定的な収益基盤の強化に努めてまいりました。営業費用は、テレワーク用機器の購入及びインターネット環境強化のため、サーバー利用料などの通信費関連費が増加、また、外部リソースを積極的に取り入れたことにより外注費が増加いたしました。この結果、売上高は774,479千円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は192,966千円（前年同期比9.5%増）となりました。

（インキュベーション事業）

インキュベーション事業は、グループ外における投資育成支援（グループ外インキュベーション）とグループ内で創設される新規事業（グループ内インキュベーション）で構成されております。

グループ外インキュベーションにおきましては、投資先企業の株式を保有し、事業育成・成長支援などのハンズオン支援を行っております。

グループ内インキュベーションにおきましては、地域体験マッチングサービス「TABICA」、外国人が教える料理教室「Tadaku」などのサービスを提供しております。スタートアップスタジオにおいては、新規サービスの開発及び実証実験を繰り返し、独創的なサービスの構築を担っております。

当第2四半期連結累計期間においては、2020年3月に投資先のアディッシュ株式会社をマザーズに上場し、保有しているアディッシュ株式の一部を売却いたしました。これにより売上高は大幅に増加しております。

また利益面については、アディッシュ株式の売却により大幅な増益となっているものの、新型コロナウイルスの影響によりイベント及びシェアオフィスは営業自粛をせざるを得ず、Gridの運営においては厳しい状況が続いております。一方「TABICA」や「TADAKU」では体験をオンラインやバーチャルで実施するなど、withコロナ時代における新たなサービス提供方法を構築してまいりました。この結果、売上高は761,195千円（前年同期比278.1%増）、セグメント利益は393,310千円（前年同期230,427千円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて131.7%増加し、3,571,273千円となりました。これは、主に現金及び預金が248,351千円、営業投資有価証券が1,762,116千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて108.7%増加し、163,119千円となりました。これは、主に長期貸付金が20,146千円、投資有価証券が57,159千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて130.6%増加し、3,734,393千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、400,737千円となりました。これは、主に流動負債のその他に含まれる未払消費税等が16,133千円増加したこと、未払金が12,007千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて274.1%増加し、738,927千円となりました。これは、主に繰延税金負債が576,010千円増加したこと、長期借入金が34,618千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて86.5%増加し、1,139,665千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて157.3%増加し、2,594,728千円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が1,139,326千円増加したこと、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により440,131千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ソーシャルメディアサービス事業については、企業におけるSNSマーケティングやソーシャルメディアを活用したプロモーション等の需要が堅調であり、売上高については、前連結会計年度と同水準を見込んでおります。インキュベーション事業においては、引き続きシェアリングエコノミーサービスに重点をおき、新規サービスの発掘・拡販を推進してまいります。新規サービス並びに関連して保有する株式の価値については、マーケット環境や市況動向次第で損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績予測が極めて困難な状況であり、連結グループとしての業績予想の公表を控えさせていただきます。

また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、第3四半期連結累計期間以降の業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。影響が判明した際は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	854,943	1,103,295
受取手形及び売掛金	204,308	178,288
営業投資有価証券	383,618	2,145,734
その他	103,388	149,143
貸倒引当金	△4,983	△5,188
流動資産合計	1,541,274	3,571,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,160	12,623
工具、器具及び備品(純額)	14,070	23,154
有形固定資産合計	27,231	35,778
無形固定資産		
ソフトウェア	1,339	1,579
無形固定資産合計	1,339	1,579
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000	59,159
敷金及び保証金	36,593	35,893
長期貸付金	49,003	69,150
その他	6,591	6,591
貸倒引当金	△44,598	△45,032
投資その他の資産合計	49,589	125,761
固定資産合計	78,160	163,119
資産合計	1,619,435	3,734,393

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,758	41,265
1年内返済予定の長期借入金	69,236	69,236
未払費用	91,405	90,311
預り金	19,895	13,010
未払法人税等	48,737	48,649
その他	139,531	138,263
流動負債合計	413,564	400,737
固定負債		
長期借入金	138,430	103,812
繰延税金負債	59,105	635,115
固定負債合計	197,535	738,927
負債合計	611,100	1,139,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,808,240	1,808,240
利益剰余金	△1,074,060	△633,929
自己株式	△68,367	△68,367
株主資本合計	765,812	1,205,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,032	1,349,358
その他の包括利益累計額合計	210,032	1,349,358
新株予約権	32,490	39,425
純資産合計	1,008,334	2,594,728
負債純資産合計	1,619,435	3,734,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	912,071	1,529,329
売上原価	398,541	371,339
売上総利益	513,529	1,157,990
販売費及び一般管理費	708,368	718,712
営業利益又は営業損失(△)	△194,838	439,278
営業外収益		
受取利息	905	1,487
助成金収入	970	2,400
受取保険金	5,782	—
その他	637	1,523
営業外収益合計	8,295	5,410
営業外費用		
支払利息	1,047	955
為替差損	3,109	3,469
その他	669	1,227
営業外費用合計	4,826	5,651
経常利益又は経常損失(△)	△191,369	439,037
特別利益		
新株予約権戻入益	63	3,572
固定資産売却益	4,720	—
特別利益合計	4,784	3,572
特別損失		
固定資産除却損	—	517
損害賠償金	—	1,000
特別損失合計	—	1,517
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△186,585	441,092
法人税、住民税及び事業税	2,865	1,355
法人税等還付税額	—	△395
法人税等合計	2,865	960
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△189,450	440,131
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△189,450	440,131

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△189,450	440,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,359	1,139,326
為替換算調整勘定	2,025	-
その他の包括利益合計	9,385	1,139,326
四半期包括利益	△180,065	1,579,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△180,065	1,579,458
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2020年6月19日開催の取締役会において、2020年7月1日付けで株式会社ロコタビの株式を追加取得により子会社化することを決議し、同日株式譲渡契約を締結いたしました。これにより2020年7月1日付けで株式会社ロコタビは、当社の連結子会社となりました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ロコタビ

事業の内容 マッチングプラットフォーム事業

②企業結合を行った理由

当社の注力しているシェアリングエコノミーの分野であり、企業理念が近いこと、ノウハウ提供、システム開発やバックオフィス面での支援を行い事業拡大に注力することによって当社グループの企業価値向上につながると判断したためであります。

③企業結合日

2020年7月1日(みなし取得日 2020年7月31日)

④企業結合の法的形式

現金を対価とした株式の取得及び第三者割当増資の引き受けによる株式の取得

⑤結合後企業名称

変更ありません。

⑥取得後の議決権比率

取得直前に所有していた議決権比率 11.56%

企業結合日に取得した議決権比率 59.03%

取得後の議決権比率 70.59%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	167,910千円
取得原価		167,910千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

該当事項はありません。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。